

令和7年度予算概算決定及び令和6年度補正予算の概要

農産局 園芸作物課

★：令和6年度補正予算

【野菜関係】

1. 加工・業務用野菜の国産シェア奪還（★含む）
2. 野菜価格安定対策事業

【花き関係】

3. 花き支援対策（ジャパンフラワー強化プロジェクト推進）
4. 2027年国際園芸博覧会関係事業（★含む）

【施設園芸関係】

5. 施設園芸等燃料価格高騰対策（★）
6. みどりの食料システム戦略推進交付金のうちSDGs対応型施設園芸確立（★含む）
7. データ駆動型農業の実践・展開支援事業
8. 養蜂等振興強化推進のうち花粉交配用昆虫関係
9. 農林水産分野における持続可能なプラスチック利用対策事業のうち農畜産業プラスチック対策強化事業
10. みどりの食料システム戦略緊急対策のうち農業生産におけるプラスチック排出抑制対策事業（★）
11. 園芸産地における事業継続強化対策（★）

【果実加工関係】

12. 果樹農業生産力増強総合対策のうち国産果実の流通加工への支援

【青果物消費拡大関係】

13. 野菜・果実の消費拡大支援委託事業

【輸出関係】

14. 輸出先国の主要輸出障壁の実態調査、データ収集等事業
15. 青果物輸出産地体制強化加速化事業（★）
16. 輸出環境整備緊急対策事業のうち輸出相手国における残留農薬基準の設定加速化事業（★）

（参考：関連予算）

17. 持続的生産強化対策事業
18. 共同利用施設の整備支援（★含む）
19. 産地生産基盤パワーアップ事業（★）
20. 物流革新に向けた取組の推進（★含む）
21. みどりの食料システム戦略推進総合対策（★含む）
22. 地域計画実現総合対策

令和6年12月
農林水産省

令和7年度予算概算決定及び令和6年度補正予算の概要

項目	令和7年度 予算概算決定 【単位：百万円】 ※小数点以下は四捨五入	令和6年度 補正予算額 【単位：百万円】 ※小数点以下は四捨五入
【野菜関係】		
加工・業務用野菜の国産シェア奪還	375	630
野菜価格安定対策事業	【所要額】 15,618	
【花き関係】		
花き支援対策(ジャパンフラワー強化プロジェクト推進)	728	
2027年国際園芸博覧会関係事業	456	3,695
【施設園芸関係】		
施設園芸等燃料価格高騰対策		2,880
みどりの食料システム戦略推進交付金 のうちSDGs対応型施設園芸確立	612 の内数	3,828 の内数
データ駆動型農業の実践・展開支援事業	171	
養蜂等振興強化推進のうち花粉交配用昆虫関係	219 の内数	
農林水産分野における持続可能なプラスチック利用対策事業 のうち農畜産業プラスチック対策強化事業	9	
みどりの食料システム戦略緊急対策 のうち農業生産におけるプラスチック排出抑制対策事業		3,828 の内数
園芸産地における事業継続強化対策		260
【果樹加工対策】		
果樹農業生産力増強総合対策 のうち国産果実の流通加工への支援	5812 の内数	
【青果物消費拡大関係】		
野菜・果実の消費拡大支援委託事業	1	
【輸出関係】		
輸出先国の主要輸出障壁の実態調査、データ収集等事業	476 の内数	
青果物輸出産地体制強化加速化事業		40
輸出環境整備緊急対策事業 のうち輸出相手国における残留農薬基準の設定加速化事業		975 の内数

加工・業務用野菜の国産シェア奪還

【令和7年度予算概算決定額 375（770）百万円】

【令和6年度補正予算額 630百万円】

<対策のポイント>

加工・業務用野菜の国産シェア奪還に向け、生産者、中間事業者、実需者等が連携して行う、生産・流通・販売方式の変革、作柄安定技術の導入等、実需者ニーズに対応した国内産地による周年安定供給を確立するための取組を支援します。

<事業目標>

加工・業務用野菜の出荷量（直接取引分）の拡大（98万t〔平成29年〕→145万t〔令和12年まで〕）

<事業の内容>

<事業イメージ>

1. 時代を拓く園芸産地づくり支援

生産者、中間事業者、実需者等が連携した国内産地による周年安定供給を実現するため、加工適性の高い品種や大型コンテナの導入など生産・流通・販売方式の変革、作柄安定技術の導入等を支援します。（助成単価：15万円/10a（定額））

また、国産野菜の周年安定供給に資する生産者、実需者等を繋ぐマッチング等の全国的な取組に係る経費を支援します。

加工・業務用野菜の周年安定供給への支援

<生産・流通・販売方式の変革>



- 加工適性の高い品種の導入
- 農業用機械、大型コンテナの導入
- 予冷庫の利用等

<作柄安定技術の導入>



- 排水対策
- 病害虫防除対策
- 風害対策等

2. 国産野菜サプライチェーン連携強化緊急対策事業（R6補正予算）

① サプライチェーン構築推進事業

複数産地と実需者が連携した国産野菜の強靱なサプライチェーンを構築するため、実需者のニーズに対応した品種の栽培実証、先進地や実需者ニーズ調査、農業機械や予冷・貯蔵庫のリース導入等に係る経費を支援します。

② サプライチェーン連携強化推進事業

国産野菜のサプライチェーン連携強化のため、複数産地と実需者が連携して行う合理化の取組について、生育予測システムや集出荷システムの導入、システム連携、電子タグ付き大型コンテナのリース導入等の実証経費を支援します。

国産野菜サプライチェーンの連携強化への支援



国産野菜サプライチェーンの構築

- ・実需者と複数産地の連携に向けた生産、流通体制の構築、新たな加工・業務用野菜の生産を行うための調査、実証



栽培実証



農業機械等のリース導入

実需者のニーズに合った
安定的な供給の実現



国産野菜サプライチェーンの連携強化

- ・産地、実需者が連携して行う合理化の取組の実証



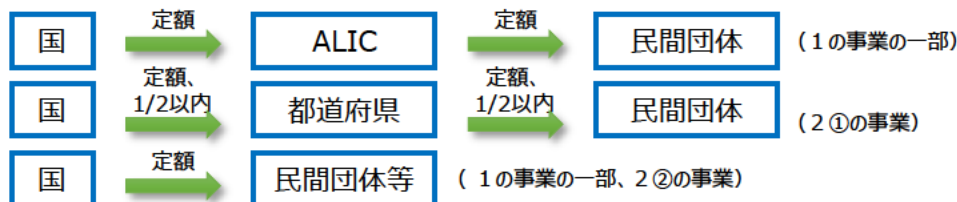
生育予測システムの導入



データ共有、有効活用

サプライチェーン内のデータの有効活用
と情報共有の体制合理化

<事業の流れ>



【お問い合わせ先】 農産局園芸作物課（03-3501-4096）